



TOHOKU UNIVERSITY FUND 2018

東北大学基金
2018年度
活動報告書



社会とともにある大学として世界を先導してまいります

日頃より東北大学基金への温かいご支援に感謝申し上げます。東北大学基金は、東北大学の発展を支える安定的基盤をつくることを目的に、創立100周年記念事業の一つとして計画し2008年に創設しました。これまで数多くの皆様からご支援をいただきながら、大切に効率よく運用し、教育・研究支援、学生支援等のために有効に活用させていただいています。

学生支援について言えば、これまで行ってきた「元気・前向き奨学金」、「学生の海外留学支援」、「課外活動支援」に加えて、2018年度からは、博士後期課程の学生を対象とした本学独自の給付型奨学金「グローバル萩博士課程奨学金」を開始しました。日本の研究力低下が危惧される時代において、科学技術の発展に資する創造と変革を先導できる人材を育成することは、日本を代表する総合大学、文部科学省より指定国立大学法人として認定された本学の責務と言えます。給付金の財源を確保するためにも、多くの皆さまに本奨学金の主旨にご賛同いただきご支援をお願いできればと考えております。

本学は、2018年11月に取りまとめた「東北大学ビジョン2030」のもと、建学の理念「研究第一」、「門戸開放」、「実学尊重」を基盤として大学経営の革新を図り、「教育」「研究」「社会との共創」の好循環をより高い次元で実現していきます。変革期を迎えた世界、予測困難な時代にあって、大学の果たす役割はますます重要になってきています。本学も「伝統校」に甘んじることなく、世界最高水準の教育研究活動を展開し、世界に卓越した研究成果を創出する「先導校」として人類社会の発展に貢献してまいります。このような大胆な挑戦を続けることができるのは、日頃の皆さまからの温かいご支援とご協力の賜です。今後も東北大学を物心両面で支えていただけますようお願い申し上げます。



東北大学総長 大野 英男



今回の表紙絵



登録有形文化財 旧 仙台医学専門学校 博物・理化学教室 (東北大学本部棟3)

建築年：明治37(1904)年
構造階数：木造平屋建
延床面積：499m²

History

仙台医学専門学校(1912年に東北帝国大学医学専門部、1915年に東北帝国大学医科大学に改組)の敷地内に建築された博物・理学教室は、医科大学が北四番丁に設置された後も取り壊されることなく学生診療所や公開施設などに活用されました。

増改築や塗装などは行われているものの、外壁や建具などは建築当時の状態が残っており、明治時代の木造校舎の雰囲気を伝える貴重な建築です。



撮影:大正5年頃

— 東北大学基金での支援事業 —



文化庁から贈られた「登録証プレート」を2018年11月に各建造物前に設置



登録有形文化財を紹介するWebサイトを2019年7月に公開
<https://www.bunkazai.tohoku.ac.jp/>





感謝のつどいを開催 -October

10月19日(金)、「東北大学基金 感謝のつどい」を青葉山新キャンパスの「青葉山コモンズ」にて開催しました。この会は、功績賞以上を受賞された寄附者の皆さまをお招きし、多大なご支援をいただいた方に賞の贈呈を行うとともに、本学の取り組みや基金の活用状況の報告、意見交換などを行うもので、今回は約70名の方々にご参加いただきました。

はじめに大野総長より、特別功労賞、功労賞を受賞された方々へ賞状と記念プレートの贈呈が行われました。続いて東北大学基金運営委員長である原理事より、東北大学基金の活動や収支についての報告が行われました。その後、大野総長から「社会とともに」という題目にて、開学以来社会からの支援を受けながら発展してきた本学の歴史や、現在の人材育成、教育研究の取組み、また今後の青葉山新キャンパスを舞台とした将来構想などが語られました。

式典の最後には、今年度、東北大学基金課外活動奨励賞を受賞した学友会交響楽部による弦楽四重奏「モーツアルト作曲ディベルティメント1番」の演奏が行われ、その素晴らしい音色にご参加いただいた皆さまが熱心に耳を傾けていました。

式典の後には寄附者、教職員、学生を交えての茶話会が行われ、盛会のうちに会が閉じられました。





19th-



寄附者の皆さまから貴重なご意見を直接伺います

毎年多くの寄附者の皆さんにご臨席いただいている「感謝のつどい」では、東北大学基金の年間実績や大学の近況などを報告しております。当日は、教職員はもちろん支援を受けている多くの学生も参加させていただいています。本年度は4月より始まった本学独自の奨学金制度「グローバル萩博士学生奨学金」の受給学生14名も懇親会会場に集まり、寄附者の皆さんお一人お一人に日頃の学生生活、研究の様子、そして感謝の意をお伝えさせていただきました。

また「感謝のつどい」は、寄附者の皆さんから本学に対する貴重なご意見をいただくことができる貴重な機会でもあります。

2019年からは仙台での開催に加えて東京でも開催いたします。より多くの寄附者の方々との交流を心待ちにしています。



社会連携・震災復興推進担当理事
東北大学基金運営委員会委員長
原 信義

感謝のつどい

オプショナルツアー

「ユニバーシティ・ハウス青葉山」の見学会

希望者
限定

午前中には10月にオープンしたばかりの国際混住型学生寄宿舎「ユニバーシティ・ハウス青葉山」の見学会を開催しました。参加者からは、学生の声を隅々に取り入れた設備や学生の生活の様子などに多くのご質問をいただき、本学の国際化をリードする取組みの一つをご紹介する良い機会となりました。

当日は学友会漕艇部の学生(大畠さん、佐藤さん)もバスガイドや見学中のアテンド係として活躍。ランチも一緒に食べ、日頃から多大なご支援いただいている寄附者の方々に感謝の気持ちをお伝えさせていただきました。



参加学生からの声

漕艇部員として「感謝のつどい」オプショナルツアーへ参加させていただきました。漕艇部は練習道具の購入費や、合宿所や移動手段である車にかかる諸費用など多額の費用がかかる団体です。漕艇部出身の先輩方だけではなく、「感謝のつどい」へ参加された方々をはじめとした大学へ支援なさっている方々からの寄附金によって活動が支えられています。この日は日頃お世話になっている方々に漕艇部の近況や感謝の気持ちを伝えることができました。部員数も増えこれからさらなる活躍が期待される漕艇部をはじめとして、東北大学をこれからも温かく見守っていただけると幸いです。

大畠政人 (漕艇部 H27入学)



東北大学基金 2018年度Topics

2018年 4月

- 特定基金「グローバル萩博士学生奨学金」を設置
- 特定基金「工学部・工学研究科 未来への挑戦基金」を設置
- 特定基金「医工学研究科 教育研究支援基金」を設置
- 特定基金「加齢医学研究所 スマート・エイジング未来基金」を設置
- 特定基金「東北大学病院 みんなのみらい基金」を設置
- 「古本募金」を開始
- 星の子保育園が開園

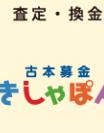
古本募金を開始

4/1

皆さまから読み終えた本・DVD等をご提供いただき、その査定換金額を東北大学に寄附する「古本募金」を始めました。ご家庭、職場等で不要になりました書籍等がございましたらぜひ「古本募金」にご協力ください。



電話またはWebから申し込みをすると宅配業者が伝票をもって集荷に伺います。



1点ずつ確認して、できる限りリユース・リサイクルします。



お名前を添えて寄附します。

お申込み・お問合せは きしゃぽんへ

WEBで申込む 受付:24時間・365日 東北大学 古本基金 検索
電話で申込む 受付:9~18時 0120-29-7000

2018年度は2,137冊(150,585円)が東北大学基金に寄附されました。



2018年 8月

- 特定基金「多元物質科学研究所 未来につなぐ“モノ”づくり基金」を設置
- 「元気・前向き奨学金(経済的困窮学部学生対象奨学金)」前期分を給付
- 「グローバル萩博士課程奨学金」を給付
- 「スタディアプロード奨学金」(SAP・FL)*の実施

2018年 6月

- 特定基金「金属材料研究所 材料科学研究教育助成基金」を設置
- 特定基金「国際共同大学院プログラム」を設置
- 「平成30年度東北大學基金課外活動奨励賞授与式」を開催(6/27)

2018年 7月

- 基金運営委員会を開催(7/6)
- 「平成30年度第1回 東北大学基金グローバル萩海外留学奨励賞授与式」を開催(7/31)

2018年 9月

- 「川内第2食堂 普通フレー復刻版」を発売(9/20)
- 「第2回相続・遺言セミナー」を開催(9/29)

グローバル萩海外留学奨励賞授与式

7/31 ▼ 12/17

「グローバル萩海外留学奨励賞」は、国際的な人材の輩出及び教育の国際化の促進に資することを目的に、本学と学術交流協定を締結している海外の大学へ留学する優秀な学生に授与しています。本年は第1回15名、第2回5名、計20名が受賞し、留学のための準備金ならびに奨学金が支給されました。



準備金15~30万円、奨学金月額6~10万円(地域により異なる)を助成

貧食カレーを復刻

9/20

1967年から2008年まで実在した川内第2食堂（通称：貧民食堂）の定番メニュー「普通カレー」をレトルトカレーとして復刻し発売しました。“カレーを食べて東北大学を応援”をテーマに企画した「貧食カレー」は売上の7%が東北大学基金に寄附されます。発売前から多くのメディア、SNSなどで話題になり卒業生をはじめとした多くの皆さんに手に取っていただけました。



2018年度は14,795個を販売。東北大学生協より東北大学基金に358,423円寄附されました。

2018年 10月

- 特定基金「理学部・理学研究科 理学教育研究支援基金」を設置
- 特定基金「学術資源研究公開センター 植物園未来基金」を設置
- 「東北大学基金感謝のつどい」を開催(10/19) [» P03~04](#)

2018年 12月

- 「平成30年度第2回 東北大学基金グローバル萩海外留学奨励賞授与式」を開催(12/17)

2019年 2月

- 「スタディアブロード奨学金」(SAP・FL)* の実施
- *SAP(スタディアブロードプログラム)…長期休業を利用した短期海外研修
FL(ファカルティレッド)…教員引率型の短期海外研修
春・夏合計で32名に7~10万円(地域により異なる)を助成

2018年 11月

- 特定基金「医学部・医学系研究科 未来医療への22世紀基金」を設置
- 特定基金「電気通信研究所 インタラクションの森基金」を設置
- 登録有形文化財 ブレート設置 [» P02](#)

2019年 1月

- 知のフォーラム5周年記念企画「知のフォーラム プレミアム」を開催(1/10) [» P10](#)
- 「元気・前向き奨学金(経済的困窮学部学生対象奨学金)」前期分を給付

2019年 3月

- 特定基金「東北大學附属図書館 図書館のみらい基金」を設置
- 入学前海外研修支援の実施(33名/16~18万円)

相続・遺言セミナー

9/29

東北大学基金遺贈寄附サポートセンター主催の「第2回相続・遺言セミナー」を開催しました。今回は東北大学法科大学院教授であり、官澤綜合法律事務所所長でもある弁護士の官澤里美先生を講師に迎え、「上手な遺言の作成と家族信託の活用」というテーマでご講演いただきました。当日は80名を超える方にご来場いただき、セミナー後に開催した個別相談会も大好評でした。



特定基金 続々始動！

2018年度は「博士課程支援基金」をはじめ、部局別の多くの特定基金が立ち上りました。世界最高水準の研究成果の発信、基礎研究の深化と普及、貴重な学術資料や自然遺産の継承、日本と世界を牽引する指導的人材の育成には安定的な財政基盤の確立が重要です。ぜひ、それぞれの基金の設立趣旨をご理解の上温かいサポートをお願いいたします。

博士課程支援基金

■ グローバル萩博士学生奨学生事業 2018.04~

- … 総勢300名程度に年額60万円の給付型奨学生を付与

■ 国際共同大学院プログラム支援事業 2018.06~

- … 学生の研究助成(研究助成費の支給・留学経費助成)
- … 研究教育環境整備(研究教育設備の整備・研究教育交流のための会議開催助成・学生の研究員雇用)



ご賛同いただいた企業からのメッセージ



社会を先導する 人材育成のために

株式会社 熊谷組
取締役会長

樋口 靖 様

高める、つくる、そして、支える。

 熊谷組

<https://www.kumagaigumi.co.jp>

熊谷組は「高める、つくる、そして、支える。」というグループビジョンのもと、お客様の願いや私たちが造ったものを使う人、そこに集う人の気持ちにまで考えを巡らせ、私たちの技術や知見、さまざまな企業とのネットワークを活かし“しあわせ品質”をお届けするチャレンジを続けています。

社会はかつてない速さで変化し、人々の暮らしや価値観は多様化しているため、産学連携によるオープンイノベーションも重要な要素となっています。熊谷組は、本奨学生をきっかけにして多くの「創造と変革を先導する人材」が育成されることを期待し、研究意欲あふれる博士課程の学生の皆さんを応援いたします。

工学部・工学研究科 未来への挑戦基金

2018.04~

東北大工学部の創立百周年(2019年5月)を記念して本基金を設置しました。工学の発展は社会に加速度的な変化をもたらします。これまで築き上げてきた100年の英知とともに、長期的な視野に立った教育・研究を行い、世界に向けて未来の風を興します。

主な使途

- 次代を担う若手人材の育成
- 修学・就学環境の整備
- 國際ブランド力の向上
- 産学連携と研究成果の社会実装



医工学研究科 教育研究支援基金

2018.04~

我が国の医工連携を推進発展させる戦略拠点である唯一の研究科として、新たな医工連携プロジェクトを創生するとともに、革新的医療機器の開発など、世界トップレベルの医工学研究拠点形成を目指します。

主な使途

- 医工学の学術的発展の推進
- 学生の海外派遣
- 産学連携による医工学研究の推進



加齢医学研究所 スマート・エイジング未来基金

2018.04~

未来型医療の世界的研究拠点の形成のため本研究所独自のプログラムの創生及び超高齢化社会における新たな加齢医学分野を開拓し世界をリードする研究拠点の構築を目指し、次の100年に向けた更なる加齢医学研究の発展を目的とした事業へ活用します。

主な使途

- 加齢医学研究およびスマート・エイジング推進事業
- 加齢医学研究の国際展開
- 先進医療・臨床研究の推進と高度医療人材育成



東北大病院 みんなのみらい基金

2018.04～

東北大病院基本理念「患者さんに優しい医療と先進医療との調和を目指した病院」のもと、高度先進医療を中心とした質の高い医療、心の通った医療の提供、臨床研究中核病院として医薬品・医療機器の開発・推進、未来の医療を担う人材育成等の事業を推進していきます。



主な使途

- 新たな医療の研究・開発
- 医療スタッフの育成
- 医療体制の整備・充実

金属材料研究所 材料科学研究教育助成基金

2018.06～

材料研究の多くは、実用化に至るまで数十年の歳月を要します。次世代の材料科学研究を担う若手研究者の育成と、真に役立つ新たな材料の創出を通して、わが国の文明発展と人類の幸福に貢献するという私共の使命を皆さんとともに遂行していきたいと考えています。



主な使途

- 学生の就学支援
- 材料科学研究の国際展開
- 社会連携に資する材料科学研究の推進
- 独創的研究テーマへの研究支援
- 材料科学に関する教育および研究の環境整備

多元物質科学研究所 未来につなぐ“モノ”づくり基金

2018.08～

2001年の設立以来、異分野融合研究を積極的に進め、物質・材料分野の既成概念を一変させるような新たな物質科学技術を発信してきました。物質科学技術研究の創成・展開を通じ、社会全体との結束を強め、未来を背負う新進気鋭の「優秀な研究者」を社会と共に輩出・育成していきます。



主な使途

- 地域連携(イベント企画などの知の交流)
- 国際連携(国際共同研究・国際交流の推進)
- 産学官連携
- 社会連携による先進的事業の推進

理学部・理学研究科 理学教育研究支援基金

2018.10～

本学理学部は、100年以上の長い歴史を誇る国内でも最大規模の理学部の一つで、「自然の理(ことわり)」を解き明かす自然科学の創造および発展を推進してきました。理学研究による自然の理解のさらなる進化と普及、その過程を通じた人材育成という本研究科の使命を果たすためにご支援をお願いします。



主な使途

- 学生への教育支援(教育環境の整備・充実、海外留学支援、キャリア支援など)
- 学生への研究支援(国際会議での研究発表支援、研究費の支援など)

学術資源研究公開センター 植物園未来基金

～仙台城「御裏林」(青葉山)を未来へ受け継ぐ～ 2018.10～

1958年に設立された東北大植物園は、日本の大学の植物園で最大の敷地面積 約52万m²を有します。天然記念物「青葉山」という貴重な自然遺産を維持管理し、次世代に継承するとともに、この自然を大学の研究教育のみならず一般の社会教育に資することを目的とする事業を推進します。



主な使途

- 「青葉山」の保全活動
- 「青葉山」をフィールドとした研究活動および研究支援活動
- 「青葉山」をフィールドとした大学および社会教育活動
- 「青葉山」の一般公開促進につながる活動

医学部・医学系研究科 未来医療への22世紀基金

2018.11～

来る22世紀を見据え、超高齢化社会をより豊かで活力あるものとするため、ゲノム情報、IoTやAI技術を活用した未来医療の研究や開発を促進し、「個別化予防」「個別化治療」を広く社会に根付かせていきます。



主な使途

- 次世代医療人材育成事業
- 未来医療への挑戦事業
- 修学環境整備事業

電気通信研究所 インタラクションの森基金

2018.11～

本所はこれからも革新的な技術を生み出す研究を通して、人々の生活を豊かにする情報通信の発展に貢献し続けます。そのためにも社会の皆さまとの連携をより密にし「インタラクションの森」を一緒に育みたいです。

※「インタラクション」は一方ではなく双方向のやりとりを意味し、「森」は多様性を表す概念として、研究の多様性や、産学連携、社会との連携などを表しています。



主な使途

- 本所独自の研究・教育プログラムの推進と整備
- 時代に先駆けた情報通信の新分野開拓
- 新産業創成につながる基盤技術の創造と実用化
- 情報通信分野の人材育成

東北大附属図書館 図書館のみらい基金

2019.03～

当館の100年を超える長い歩みの中で集積してきた貴重なコレクションは、人類の「知の遺産」であり、本学の学生・教職員ばかりでなく、世界中から研究者が来館し利用してきました。このコレクションを未来に継承し、デジタル画像公開や展示などのイベントを通して広く社会に供するためのご支援をお願いします。



主な使途

- 市民・学生・研究者のためのデジタル・コレクション構築と公開
- 貴重資料に関する展示会など各種イベント開催
- 図書館設備の充実、資料の保存・修復
- 人材育成

■ 課外活動奨励賞

課外活動で優秀な成績を収めた団体や、本学もしくは地域社会に多大なる貢献をした団体として2018年度は27団体が「課外活動奨励賞」を受賞しました。

受賞団体

混声合唱部、交響楽部、放送研究部、落語研究部、アカペラコーラス部、卓球部、漕艇部、乗馬部、合気道部、ボディビル部、体操部、アメリカンフットボール部、オリエンテーリング部、男子ラクロス部、女子ラクロス部、レーシングカート部、相撲部、報道部、かるた会、コントラクトブリッジ、起業部VEX、FROM THE EARTH、INNEBANDY、競技麻雀同好会、学問と社会をつなぐサロン、TEDx TohokuUniv.、Smile Future JAPAN 仙台

1団体につき5万円、27団体に計135万円の奨励金を授与



6月27日に開催した課外活動奨励賞授賞式で受賞団体に賞状と奨励金を贈呈

■ 学生団体の企画事業等に対する助成

ボランティア活動など学友会の垣根を超えた企画立案事業に対し、2018年度は11団体に助成金を支援しました。

助成団体

交響楽部、写真部、書道部、柔道部、アメリカンフットボール部、オリエンテーリング部、かるた会、FROM THE EARTH、学問と社会をつなぐサロン、Smile Future JAPAN 仙台、歯科医療研究会

1団体上限30万円、11団体に
計1,761,899円を助成

アメリカンフットボール部

創部以来40年間、私たちが関東の私立強豪校に勝利したことは一度もありません。しかし、私たちが関東の強豪校に勝利し、アメフト界の歴史と常識を覆すということほど面白いことはないと思います。「東日本制覇」という目標を達成し、支援してくださるすべての方々に恩返しができるよう、部員一同、誠心誠意アメフトに取り組みます。



写真部

寄附金は作品制作のための備品購入や、六月展の会場使用料として使用させていただきました。六月展、学祭展のようにいくつもの展覧会を開催することができるには、寄附金による助成があったためです。私たちが精力的に活動を行えるよう寄附をしてくださり、支援してくださったことに改めてお礼申し上げます。



祝 七大戦 総合優勝2連覇を達成！

日本を代表する7つの国立大学(北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学)が合同で開催している全国七大学総合体育大会(通称: 七大戦、七帝戦)。東北大学の近年の活躍は目覚ましく、過去6年では3連覇を含む5回の総合優勝を飾っています。2018年度も総合優勝を勝ち取り見事2連覇中です。卒業生をはじめとした皆さまからの物心両面での支えがこの好成績を支えているといっても過言ではありません。2019年度の七大戦も7月6日に開幕します。皆様からの声援をどうぞよろしくお願ひいたします。 (学友会応援団第56代団長 松永 翔太)



2018年度体育部壮行会

知のフォーラム5周年 TFC基金にスポンサー制度を追加

2013年10月に活動をはじめた知のフォーラムは、日本で初めての訪問滞在型研究センターとして、ノーベル賞受賞者やフィールズ賞受賞者をはじめ、世界トップクラスの研究者を招聘して、未来社会への課題解決、次世代へ向けた新しい研究分野の創成へ向けた議論を行うための場を提供しています。

2018年の5周年を機に、知のフォーラムの活動を広く知っていただくため、「知のフォーラム5周年記念講演会」と題した計4回の一般講演会を開催いたしました。各講演会とも大盛況に終わり、合わせて約500名の方々にご参加いただきました。



大栗博司先生

ジェニファー・ダウドナ先生

出口治明先生

TFC基金

知のフォーラム(Tohoku Forum for Creativity:略称TFC)が目指す社会貢献を推進するため「TFC基金」を2015年に立ち上げ、これまで多くの個人の皆さま、法人より支援いただいております。2019年度からはスポンサー特典を充実したスポンサーシップ制度を開始します。研究者の招聘、公開講座・シンポジウムの企画・開催など知のフォーラムの運営を通して、国際学術・文化都市形成の推進と、世界で活躍する次世代の育成を支援します。知のフォーラムへのご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

スポンサー特典

- ノーベル賞受賞者等、著名研究者招聘協力による企業ブランドアップ
- WEBサイトやポスター等の広報物、イベント看板などへの御社名・ロゴ等の掲載
- 東北大学研究者とのマッチングセミナーへのご招待
- 知のフォーラムが実施するプログラム等の情報案内・優先参加
- イベントサイトでの企業ブースの出展、プレゼンテーションタイム特典
- 知の館を使用した活動の場の提供^(*)
- ワークショップやイベント、招聘者の提案
- テーマプログラムの立案

※(*)知の館(TOKYO ELECTRON House of Creativity)は、東北大学片平キャンパス内にある、知のフォーラム拠点施設です。

※スポンサーの種類により特典が異なります。詳しくは、WEBサイトをご覧いただけます。
www.tfc.tohoku.ac.jp/tfcfund/

スポンサー企業からのメッセージ



夢のある社会の 発展にむけて

東京エレクトロン株式会社
代表取締役社長・CEO
河合 利樹 様



TOKYO ELECTRON

<https://www.tel.co.jp/>

知のフォーラムには世界トップレベルの研究者が集い、サステナブルな社会を支えるべくさまざまな分野の研究がすすめられています。このプログラムを通じて、未来の研究をリードする若手研究者がグローバルな視点から物ごとを考えられるよう、人材の育成にも貢献したいと考えています。東北大学知のフォーラムがワールドクラスの英知が集う求心力の高いフォーラムとして、これから豊かな社会の発展に大いに寄与することを願っています。

東北大学基金実績報告

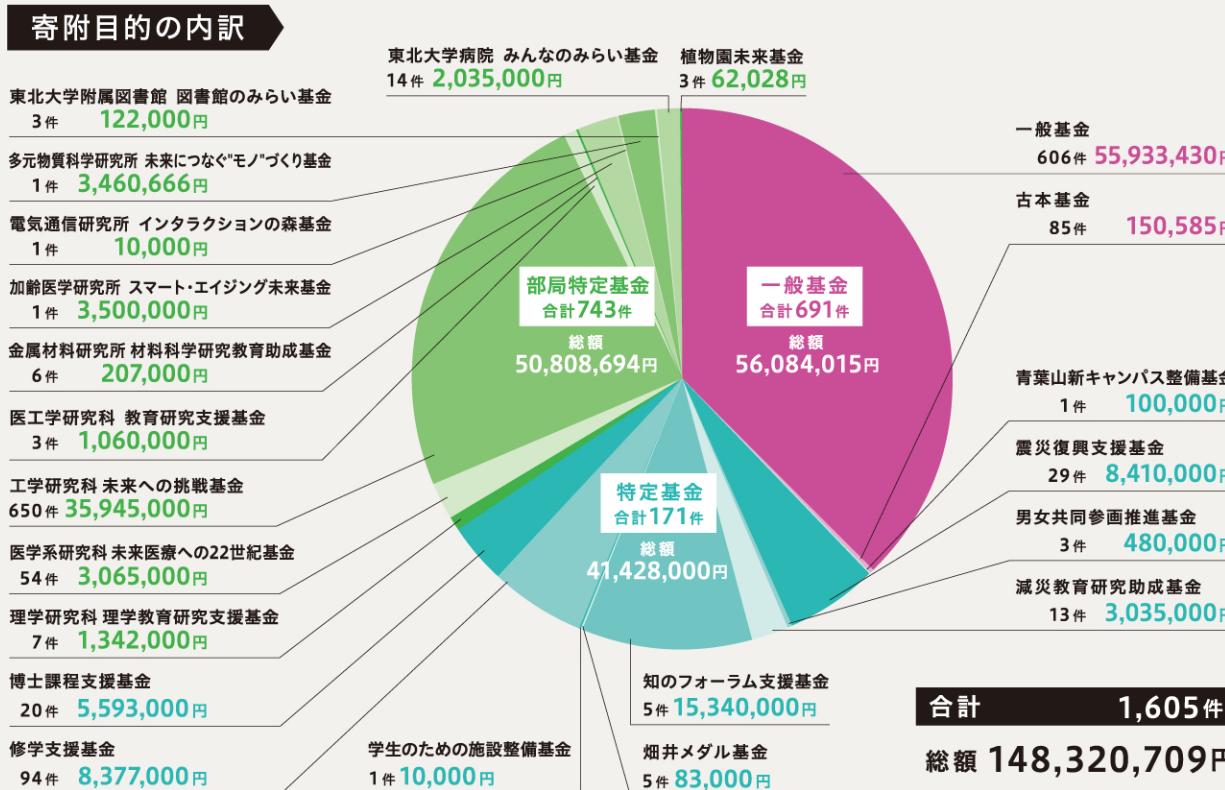
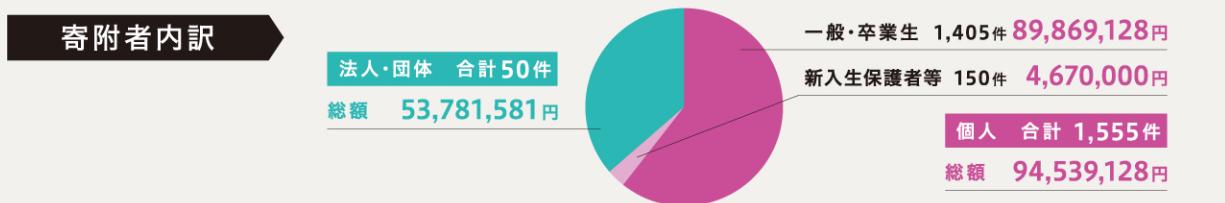
東北大学基金に貴重なご寄附をお寄せいただきまして誠にありがとうございます。皆さまのご寄附は、教育・研究の充実、キャンパス整備、学生支援などに有効に活用しています。

これまでの累計(2008年度～2018年度)



2018年度受入について

2018年度は総額 148,320,709円のご寄附をいただきました。※外貨による寄附を含む(60,000スイスフラン:日本円換算額6,627,300円)



2018年度支出について

2018年度は以下の事業の支援に活用させていただきました。

東北大学を支援 (一般基金)

- 教育・研究への助成、施設整備の向上
- 学生の海外留学への支援
- 学友会などの課外活動への助成
- 同窓生・地域社会とのつながり

特定のプロジェクトを支援 (特定基金)

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 修学支援 ● 青葉山新キャンパス整備 ● 男女共同参画推進 ● 知のフォーラム支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 博士課程支援 ● 震災復興支援 ● 減災教育研究助成 ● 部局の研究教育活動支援 |
|--|---|

事業実施経費

産学官連携・社会貢献
9,294,441円

教育・研究支援
591,268円

国際交流・留学生支援
17,730,167円

学生支援
16,811,835円

須永重光経済学研究科支援基金
1,894,730円

修学支援
18,000,000円

博士課程支援
60,000,000円

吉村医学研究教育支援基金
66,995,478円

青葉山新キャンパス整備
1,103,760円

加齢医学研究所の
研究教育活動支援
2,000,000円

震災復興支援
7,000,000円

知のフォーラム支援
15,000,000円

男女共同参画推進
733,113円

減災教育研究助成
2,183,843円

合計
総額 219,338,635円

今後とも本学の使命にご理解・ご賛同いただき、東北大学基金へご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

寄附者顕彰・特典

寄附者への顕彰

■ 賞の贈呈

ご寄附の総額に応じて、賞を贈呈しています。東北大学基金創設以来の賞の贈呈実績(累計)は以下の通りです。

賞	個人	法人・団体	個人数(累計)	法人・団体数(累計)
栄誉功労賞	3,000万円以上	1億円以上	3	2
特別功労賞	1,000万円以上	5,000万円以上	9	9
功 労 賞	100万円以上	1,000万円以上	86	9
特別功績賞	50万円以上	500万円以上	52	9
功 績 賞	10万円以上	100万円以上	541	43

(2019年3月末現在)

■ 寄附者顕彰銘板

功績賞以上の賞(栄誉功労賞、特別功労賞、功労賞、特別功績賞、功績賞)を授与された寄附者さまのお名前を、東北大学片平キャンパス内エクステンション教育研究棟に設置している「東北大学基金寄附者顕彰銘板」に掲示させていただきます。

2018年度は法人、個人合わせて164のご芳名を新たに追加で掲示し、合計で法人、個人合わせ756のご芳名が記されています。(震災寄付金を含む)

※掲示を希望されない方は除いています。



感謝の気持ちを込めて記念品を謹呈

記念プレート

栄誉功労賞、特別功労賞、功労賞の方に、記念プレートを贈呈しています。



東北大学ロゴマークの オリジナルシール

蒔絵風の写し絵シールを台紙に貼ってお届けします。



※特定基金によっては別途オリジナル特典をご用意しています。

新入生特典

新入生(または新入生のご家族)で1口3万円以上のご寄附をいただいた皆さまに、新入生のお名前入りで特別限定の記念品を謹呈しています。



お知らせ Information

現在募集中の基金

〈大学全体を支援〉

- 一般基金
- 修学支援基金
- 博士課程支援基金

〈特定プロジェクトを支援〉

- 減災教育研究助成基金
- 知のフォーラム TFCフレンド基金
- 男女共同参画推進基金
- 震災復興支援基金
- 青葉山新キャンパス整備

〈学部・研究科等を支援〉

- 理学部・理学研究科 理学教育研究支援基金
- 医学部・医学系研究科 未来医療への22世紀基金
- 工学部・工学研究科 未来への挑戦基金
- 医工学研究科 教育研究支援基金
- 金属材料研究所 材料科学研究教育助成基金
- 加齢医学研究所 スマート・エイジング未来基金

- 電気通信研究所 インタラクションの森基金
 - 多元物質科学研究所 未来につなぐ“モノ”づくり基金
 - 東北大学附属図書館 図書館のみらい基金
 - 東北大学病院 みんなのみらい基金
 - 学術資源研究公開センター 植物園未来基金
- ～仙台城「御裏林」(青葉山)を未来へ受け継ぐ～

寄附者顕彰・特典／お知らせ

ご寄附の方法

個人の方

郵便振替・銀行振込

振込票をお送りいたしますので、ウェブサイトの寄附申込フォームよりお手続きください。お電話やメールでも承ります。

※取扱金融機関…ゆうちょ銀行、みずほ銀行、七十七銀行
※払込手数料は本学にて負担いたします。

こちらより
お申込みください
[東北大](#) [検索](#)



クレジットカード決済

ウェブサイトの寄附申込フォームより手続きください。

※取扱カード…
VISA MasterCard



法人・団体の方 お申込書をお送りいたしますので、東北大学基金事務局までご連絡ください。

外貨でのご寄附が可能になりました

東北大学基金では2018年度より、みずほ銀行と七十七銀行に外貨預金口座を開設しました。外貨(米ドル、ユーロ、英国ポンド、豪ドル、スイスフラン)でのご寄附も受付けておりますので、お気軽にお問合せください。

東北大学でもクラウドファンディングを始めます

インターネット上で自分たちの成し遂げたい活動や夢を発信し、プロジェクト資金を募る「クラウドファンディング」を今年度から東北大学でも開始します。

これまで東北大学基金では、学生への奨学金や留学、課外活動助成など、大学全体を支援する基金と、各学部や研究科、施設ごとの教育研究資金を募る基金を募集していましたが、クラウドファンディングではより具体的な、個別のプロジェクトごとにご支援いただけます。プロジェクトごとに独自のリターン(お礼・返礼品)が設けられるのも特徴の一つです。

クラウドファンディングには大きく分けて「寄附型」と「購入型」の2タイプありますが、このうち「寄附型」として募集されたプロジェクトへのご支援は、東北大学基金へのご寄附と同様に税制上の優遇措置が受けられます。2019年7月以降、さまざまなプロジェクトで募集していく予定です。ぜひ個性溢れる一つひとつの活動をご覧いただき、東北大学基金の活動と併せてのご支援をよろしくお願ひいたします。

※具体的なプロジェクトについては、順次東北大学基金のホームページなどで発信予定です。





東北大学基金事務局

〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1番1号 TEL:022-217-5058/5905 FAX:022-217-4818
E-Mail:kikin@grp.tohoku.ac.jp URL:<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kikin/>

0120-279-514 (つなぐ ご意思)